

令和6年10月22日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

収量調査

品種名	全重 (kg/a)				わら重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
はれわたり	166.5	172.1	97	165.4	78.3	82.5	95	79.6
まっしぐら	167.4	170.8	98	168.3	74.9	77.7	96	76.4
青天の霹靂	164.3	160.6	102	155.5	75.3	79.5	95	77.6

品種名	精籾重 (kg/a)				しいな重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
はれわたり	82.6	80.8	102	80.8	0.6	0.5	120	0.5
まっしぐら	86.6	84.5	102	86.6	0.8	0.8	100	0.7
青天の霹靂	83.3	74.2	112	74.5	0.4	0.2	200	0.3

品種名	粗玄米重 (kg/a)				屑米重 (kg/a)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
はれわたり	66.5	65.3	102	64.5	3.2	2.6	123	1.4
まっしぐら	70.1	68.2	103	69.1	3.5	2.3	152	2.0
青天の霹靂	67.5	60.2	112	59.7	3.2	2.3	139	0.9

品種名	精玄米重 (kg/a)				玄米千粒重 (g)			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
はれわたり	63.4	62.7	101	63.0	22.0	22.7	97	22.3
まっしぐら	66.6	65.9	101	67.1	22.5	23.1	97	23.0
青天の霹靂	64.3	57.9	111	58.7	22.7	22.8	100	22.7

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m²

施肥 (kg/a)：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/4、幼穂形成期）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/9、幼穂形成期5日後）

「青天の霹靂」0.35+0.1（追肥日7/5、幼穂形成期）

3) 平年値は、「はれわたり」が2021年以降（3か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（15か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（9か年）の平均値。

4) 精玄米重及び玄米千粒重は、粗玄米を1.9mmのふるいで選別した値。

【概況】

「はれわたり」は、全重及びわら重は平年よりやや軽く、精玄米重は平年比101%と並みであった。また、玄米千粒重は平年よりやや軽かった。

「まっしぐら」は、全重が平年並み、わら重は平年よりやや軽く、精玄米重は平年比101%と並みであった。また、玄米千粒重は平年よりやや軽かった。

「青天の霹靂」は、全重が平年並み、わら重は平年よりやや軽く、精玄米重は平年比111%とかなり多収であった。また、玄米千粒重は平年並であった。

令和6年10月22日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

登熟調査

品種名	株当たり穂数（本）				㎡当たり穂数（本）			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
はれわたり	21.6	20.5	105	22.1	458	435	105	469
まっしぐら	22.1	21.1	105	22.0	469	447	105	466
青天の霹靂	21.0	19.4	108	19.4	446	412	108	412

品種名	1穂籾数（粒）				㎡当たり籾数（×100粒）			
	本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
はれわたり	70.7	73.0	97	68.9	324	317	102	323
まっしぐら	69.7	73.1	95	74.1	327	327	100	346
青天の霹靂	67.2	66.3	101	69.2	300	273	110	285

品種名	有効茎歩合（%）				枝梗別籾数割合（%）			
					1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
はれわたり	65.4	70.8	-5.4	63.9	72.0	68.8	28.0	31.2
まっしぐら	69.6	66.7	+2.9	61.5	63.6	60.3	36.4	39.7
青天の霹靂	75.2	69.3	+5.9	65.3	65.2	65.5	34.8	34.5

品種名	登熟歩合（%）							
	1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
はれわたり	90.4	87.2	+3.2	87.5	93.2	91.7	83.2	78.2
まっしぐら	90.5	88.1	+2.4	84.1	92.7	92.2	86.6	72.4
青天の霹靂	93.1	93.1	±0	90.6	95.7	92.8	88.5	86.7

品種名	不稔歩合（%）							
	1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
	本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
はれわたり	2.7	4.2	-1.5	3.9	2.5	3.4	4.3	4.9
まっしぐら	3.8	3.4	+0.4	5.0	3.4	4.2	4.3	6.2
青天の霹靂	3.1	3.4	-0.3	4.7	2.5	4.1	4.3	5.6

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

- 2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/㎡
 施肥（kg/a）：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/4、幼穂形成期）
 「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/9、幼穂形成期5日後）
 「青天の霹靂」0.35+0.1（追肥日7/5、幼穂形成期）

- 3) 平年値は、「はれわたり」が2021年以降（3か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（15か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（9か年）の平均値。

【概況】

「はれわたり」は、1穂籾数は平年比97%とやや少なかったが、㎡当たり穂数が同105%とやや多かったことから、㎡当たり籾数は同102%と平年並みだった。登熟歩合（1次枝梗+2次枝梗、以下同様）は90.4%で平年を3.2ポイント上回った。

「まっしぐら」は、1穂籾数は平年比95%とやや少なかったが、㎡当たり穂数が同105%とやや多かったことから、㎡当たり籾数は同100%と平年並みだった。登熟歩合は90.5%で平年を2.4ポイント上回った。

令和6年10月22日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

「青天の霹靂」は、1穂粒数は平年比101%と平年並だが、 m^2 当たり穂数が同108%とかなり多かったことから、 m^2 当たり粒数は同110%とかなり多かった。登熟歩合は93.1%で平年並みだった。

令和6年10月22日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

粒厚分布調査

品種名	年次	玄米粒厚別重量歩合 (%)						
		～2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6～
はれわたり	本年	5.8	46.7	32.0	10.7	2.9	1.0	0.9
	平年	15.7	48.6	23.9	7.8	2.3	0.9	0.8
	前年	26.8	51.8	14.9	4.3	1.3	0.5	0.4
まっしぐら	本年	3.9	44.7	34.7	11.6	2.8	1.1	1.1
	平年	12.1	48.1	28.0	8.3	2.0	0.8	0.6
	前年	25.0	54.2	14.3	3.7	1.4	0.9	0.6
青天の霹靂	本年	4.5	44.9	34.3	11.6	3.0	1.1	0.7
	平年	10.2	47.5	28.6	10.0	2.5	0.9	0.4
	前年	31.8	49.6	13.5	3.5	1.0	0.4	0.2

品種名	年次	重量歩合 (%)
		1.9mm 以上
はれわたり	本年	95.2
	平年	96.0
	前年	97.8
まっしぐら	本年	94.9
	平年	96.6
	前年	97.2
青天の霹靂	本年	95.3
	平年	96.3
	前年	98.4

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m²

施肥（kg/a）：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/4、幼穂形成期）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/9、幼穂形成期5日後）

「青天の霹靂」0.35+0.1（追肥日7/5、幼穂形成期）

3) 平年値は、「はれわたり」が2021年以降（3か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（15か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（9か年）の平均値

【概況】

粒厚別重量歩合のピークは、「はれわたり」、「まっしぐら」及び「青天の霹靂」とも2.1mmで平年並であった。重量歩合はいずれの品種も1.9mm、2.0mmが平年を上回ったが、2.1mm以上が平年を下回り、1.9mm以上の重量歩合は前年を下回った。

令和6年10月22日

水稻作況調査（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

節間長調査

品種名	年次	生育調査区		節間長				
		稈長 (cm)	穂長 (cm)	第1 (cm)	第2 (cm)	第3 (cm)	第4 (cm)	第5 (cm)
はれわたり	本年	95.1	16.8	32.9	20.1	23.4	15.2	3.8
	平年	86.7	16.8	33.3	19.2	17.9	12.9	3.2
	前年	86.1	16.5	33.1	17.9	17.6	13.9	3.5
まっしぐら	本年	89.5	17.0	33.1	20.2	20.4	12.3	3.6
	平年	80.2	17.3	33.2	19.3	15.2	10.7	2.0
	前年	81.7	17.6	34.7	18.4	13.7	12.9	1.9
青天の霹靂	本年	91.1	19.1	33.6	19.7	20.9	13.4	3.5
	平年	79.8	17.9	31.5	18.2	16.3	11.2	2.5
	前年	79.4	18.8	33.4	18.1	15.5	10.5	1.7

注1) 農林総合研究所（黒石）の作況試験のデータ。

2) 耕種概要 播種日：4月15日、移植日：5月20日（4本手植え）、栽植密度：21.2株/m²

施肥（kg/a）：「はれわたり」0.5+0.2（追肥日7/4、幼穂形成期）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/9、幼穂形成期5日後）

「青天の霹靂」0.35+0.1（追肥日7/5、幼穂形成期）

3) 平年値は、「はれわたり」が2021年以降（3か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年～2008年および2011年以降（15か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（9か年）の平均値

【概況】

「はれわたり」は、稈長が平年より8.4cm長く、穂長は平年並みだった。節間長は第3及び第4節間は平年より長く、第3節間長が第2節間長を上回った。

「まっしぐら」は、稈長が平年より9.3cm長く、穂長は平年並みだった。節間長は第3、第4及び第5節間は平年より長く、第3節間長が第2節間長と同等だった。

「青天の霹靂」は、稈長が平年より11.3cm長く、穂長は1.2cm長かった。節間長は全ての節間が平年より長く、第3節間長が第2節間長を上回った。